



# 水稻のカメムシ対策について



斑点米

**カメムシについて**

斑点米カメムシは、イネのもみを吸汁することで斑点米を発生させます。カメムシは稻が出穂する前には畔などの雑草に潜んでおり、稻が出穂した後に水田内に侵入し食害するものがほとんどです。

**カメムシによる被害**

乳熟期前にカメムシによつて吸汁されると、未熟米となつて米粒の充実度が損なわれます。乳熟期以降に吸汁されると斑点米になる玄米が発生します。斑点米の混入は米の等級に影響してしまうことから、その原因となる斑点米カメムシの防除はとても大切です。

## カメムシの防除方法について

薬剤防除
薬剤防除は散布するタイミングに注意しましょう。出穂5～7日後に薬剤を散布し、散布した10日～14日後に追加散布することで、効果的にカメムシを防除することができます。

**耕種的防除**

発生源対策として、水田周辺の牧草地、雑草地、畔の草刈りが効果的です。イネが出穂する約2週間前に畔等の周辺雑草を除草することで、水田へ侵入するカメムシの量を減らすことができます。逆に出穂してから除草では、居場所の無くなつたカメムシの侵入が増えてしましますので注意しましょう。



クモヘリカメムシ



### ▼防除薬剤の例

種類	農薬名	散布量又は希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
本田施用剤 殺虫剤	スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
本田施用剤 殺虫剤	スタークル豆つぶ	250g/10a	収穫7日前まで	3回以内
本田施用剤 殺虫剤	スタークル粉剤DL	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
本田施用剤 殺虫剤	トレボン乳剤	2000倍	収穫14日前まで	3回以内
本田施用剤 殺虫剤	トレボン粉剤DL	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内

※粒剤、豆つぶ剤は湛水状態で使用し、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。

※豆つぶ剤は、藻類やウキクサが多発している水田では、薬剤の拡散が妨げられるので使用しない



穂が少し傾いた時期が目安です。

## 中古農機「譲ります」情報募集 !!

譲渡対象者▶JA大阪北部管内の組合員

- ◆農機が倉庫で眠っていて使う予定の無い方の情報を待ちています。
- ◆各支店・センターに備付けの『中古農機「譲ります」情報カード』に必要事項を記入のうえ最寄の支店へ提出願います。



※本コーナーは出品者と譲受人との直接交渉となります。

掲載内容は広報誌発行時によるものであり、引き渡し時の状態と異なる場合があります。